

## 新聞広告について

# 平成23年度の新聞広告について

○国土交通省関東地方整備局では、平成24年2月に地域連携事業の地方紙への掲載を予定しており、紙面の一部で荒川太郎右衛門地区自然再生事業の広告掲載が可能な状況にあります。

## スケジュール(案)

H23.10.29  
協議会

新聞広告に掲載すること、  
内容は広報WGと協議会  
長に一任

12月初旬

第1回 広報ワーキング  
の開催、2月頃に新聞広  
告に掲載する内容の検  
討

2月

読売新聞(地方版)と埼玉  
新聞に広告掲載

2月下旬

協議会に報告

## 新聞掲載事例

**野生の生きものが暮らせる、豊かな自然を取り戻します。**

荒川の流域は都市化が進み、自然が次々と失われています。いまや平野部でまとまった自然が残っている場所は、この荒川の河川敷が中心です。そこで荒川上流河川事務所では、そうした自然の保全と再生を進め、さらに周辺の田舎とつながりをつなぎながら、流域全体の自然を回復させることを目指し、ビオトープ等の整備を進めています。

- ビオトープとは  
池や沼、草地、草地、雑木林など「野生の生きものが暮らせる場所」をビオトープといいます。
- 代表的なビオトープ  
● 浅羽ビオトープ  
● 荒川太郎右衛門自然再生地  
● ミツ又沼ビオトープ  
● 杉溝(荒川第一調整池)

**出会いや発見がある自然あふれる荒川へ。**

**自然の達人が教える自然観察のポイント。**

①「ネコジャラシ」の影ほらに注目  
②広葉樹の葉の裏面に注目  
③氷中から突き出た枝や、水面に浮かぶアヒのうに注目

国土交通省関東地方整備局 荒川上流河川事務所 TEL.049-246-6371 <http://www.ktr.mlit.go.jp/araajo> 荒川上流 検索

荒川太郎右衛門自然再生事業の紙面で使  
用できる広告の範囲(予定)。  
広告掲載の意志決定は11月までに返答す  
る必要があります。